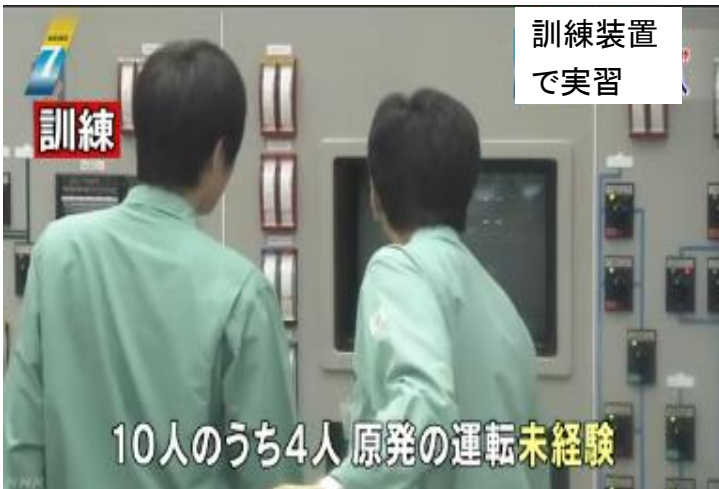
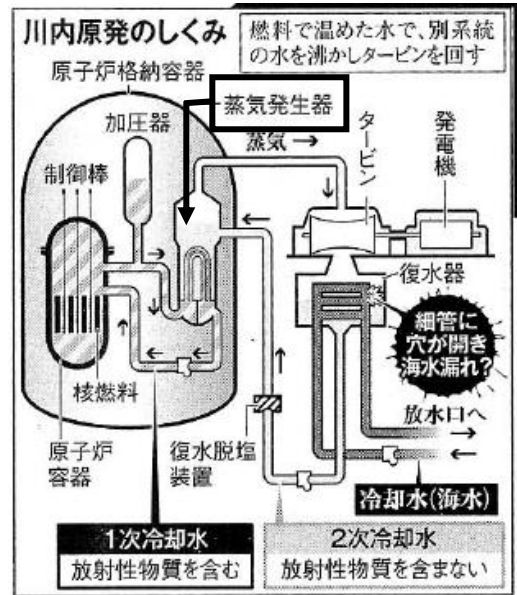


川内原発の運転員は、40%が経験「ゼロ」 2号機は、今すぐ蒸気発生器を交換しろ



▲運転員の10人のうち4人が原発運転のしろうと



▲放射能を含む水が通る蒸気発生器

九電は10月14日にも、川内原発2号機を再稼働させようとしています。ところが運転員の4割が未経験者であることが判りました(9月21日のNHK報道)。また30年以上も使った蒸気発生器はボロボロです。

●未経験者に、原発の運転を任せるのか?

福島原発事故の際、経験を積んだ運転員さえ、バルブの場所や操作方法が判らず、事故を拡大させました。事故時とはそういうもの。

九電は、数千ページと言われるマニュアルの丸暗記と、訓練装置での「実習」でなんとかしようとしています。しかし訓練装置では、事故の進行の徴候である音や振動は伝わりません。「畳の上での水練」とはこのことです。

また、放射能を含む1次冷却水が通る蒸気発生器はボロボロ。九電は約1年後の定期検査で新品に代えたいと言いました。老朽化が心配なら、たった今、交換すべきです。

●10月12日、2000人の反対デモに合流を

鹿児島の「3・11実行委員会」は、10月12日1時から鹿児島駅前で大集会をもち、2000人規模のデモを行います。また数日間のゲート前抗議行動も行うことになるでしょう。

運転員は素人、蒸気発生器はボロボロ。再稼働したとたん、1号機の復水器のように配管に穴があくかもしれません。そんな川内原発に、命と財産をあずけるわけにはいきません。10・12デモに合流し、「反対」の声を上げましょう。